

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	0
施設名	金町駅前さくらんぼ保育園
施設所在地	東京都葛飾区金町6-4-1 金町木下ビル2階
法人名	社会福祉法人 誠高会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

色
～色から感じる様々な感覚～

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

当園では、すくわくプログラムが始まる前より、春と夏の年間2回ダイナミック保育という特徴ある保育を行っており、園庭もなくビルイン型の当園では普段なかなか経験出来ない活動（ポディーペインティング等のダイナミックな活動）を保育室全体や園全体を使い行ってきた。また、毎月の活動の中に各クラス1つは製作活動を設定していることもあり、色に触れることが多くイメージを感じたり、明るい暗い華やか等の印象、自分の好みの色等を自然と感じている。また散歩に出かけることも多いため、季節の色、生活に関わる色、散歩先での様々な色の発見等に触れる機会も多かった。色は、0歳児クラス～5歳児クラスどの学年でも触れ感じることができるため、今回【色】をテーマに探求することに決定した。

2. 活動スケジュール

年間を通して、色に触れる活動は行っているが主に8月～3月に意識的に活動を行っている。

8月：夏のダイナミック保育（カラフルアート）

9月～11月：散歩、製作活動

12月～1月：製作活動（ソルトアート活動含む）

2月：冬のダイナミック保育

3月：調べ学習（そら組）

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

【夏のダイナミック保育】準備物：バブルアート一式、風船スタンプ一式、着色したマカロニ等

環境・配慮：自由に全身を使って、アート活動が行えるようにする。園庭がないため、幼児保育室を全養生し思い切り活動が行えるように配慮する。0歳児～5歳児までがたのしめるように、様々な道具や素材を準備する。

【各月各クラス製作活動】準備物：各クラス毎 絵の具、自然物、画用紙など 様々な素材に触れ色を感じる活動を行った。

環境・配慮：各学年に合った活動を月1回行っていく。乳児クラスは、実際に触れて感じたり自分で選んだり出来るように配慮した。幼児クラスは、自分たちで想像しながら色を使い楽しめる活動を取り入れた。

【冬のダイナミック保育】準備物：絵の具、塩、プラネタリウム等

環境・配慮：冬の季節を感じる事のできるような色を子どもたちと考え、装飾を子どもたちで製作する。

【そら組 色についての調べ学習】準備物：タブレット、絵の具、画用紙等

環境・配慮

1日目：子どもの自由な発言を、《いいね!》と受け止めながら話が盛り上がり進むように保育士はサポートする。わからない事や気になったことは、タブレットなどを使い自分たちで調べられるようにサポートする。

2日目：タブレットと絵の具を使い、自由に活動を行えるようにする。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

【夏のダイナミック保育】8月28日（木） 全クラス合同にて全身を使い色に触れる活動を行った。全体を養生した保育室にて、パブルアート、風船スタンプ、染色したマカロニなどを使用し様々な色に全身で触れて楽しんだ。 【各月各クラス製作活動】各月各クラス設定日 クラス毎毎月製作活動を行う。滲み絵・デカルコマニー・スタンプなど色に興味を持てる内容を取り入れ行った。また、普段の保育の中でもやイングリッシュタイム（外国語活動）の中でも、色鬼等のゲーム活動・色の名前を英語で触れるなど、興味関心ももてるような活動を行ってきた。また、散歩に出かけ季節の色を感じる機会も持ってきた。 【冬のダイナミック保育】1月19日（月） 冬のダイナミック保育では、雪の世界を表現し寒さや冷たさを色で感じたり冬の遊びを楽しむ。色のイメージを感じられるよう、ソルトアートで雪の結晶を作る活動を行い（幼児クラス）青＝寒色を自然と感じ取ったり、雪を表現した白の世界で遊びを楽しんだ。 【色についての調べ学習】3月30日、31日 ・年長クラスは最終、色について更に友だちと話し疑問を共有したり、タブレットにて調べ学習を行う。最終日は、タブレットアプリによる色混ぜ遊びを経て実際に絵の具を混ぜる事で自分の好きな色を作る活動を行った。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等） 子どもたちは、色の存在に気づきこれは〇〇色だね！〇〇の色と一緒にだね！などと、この世界には様々なものに色があることに気が付き興味を示している。いままで自然とみていただけの色であったが、元気そうな色、・あったかそうな色・寒そうな色・キラキラした色・怖い色等、イメージを表現する言葉も出てきている。乳児クラスの子どもたちは、バナナの色は黄色！消防車の色は赤！など、様々なものに色がある事に気づいたり、自分の好みの色を製作で使うなど色に興味を持って触れる。ダイナミック保育では、乳児クラスは幼児クラスの子の様子を見て真似をしたり年上児の子に手伝ってもらいながら色あそびを楽しみ、幼児クラスの子は自分で色を混ぜたり重ねたりしながら、楽しむ。その中で、「混ぜたら〇〇色になっちゃった」「こんなにきれいな色が出来た」「海の色みたいだね」と遊びの中で様々な会話が生まれていた。保育者は、次々に聴こえてくる子どもたちの会話に耳を傾けながら否定せず「じゃ、〇〇色は何色からできてるんだろうね？」「綺麗な色だね」「素敵な海だね」など、受け止め更に考察が進むような声掛けを心掛けた。冬には、冷たい色、寒い色等の寒色系の世界を、雪の世界に見立て遊んだ。雪の結晶はどんな色だと冷たさを感じるかと、ソルトアートで雪の結晶を楽しんだり、真っ白なへやで雪に見立てた段ボールなどを使い雪遊びを楽しむ。暖房のきいたあったかい部屋ではあるが、「なんか寒い感じがするね」「本当の氷のお城みたい」とイメージが膨らんでいた。年長児の色についての活動では、色のイメージについて話してみた。街で見かける様々なもの、消防車やパトカーのバトランプはなぜ赤いの？信号は、なんで赤・青・黄色なの？や森や山の緑はどんな感じ？など自由に話をすすめた。色って何？と言われると、知らない・わからないと発言する子が多いがピンクはかわいい、青白黒はカッコいいなど色へのイメージは感じている。また、ポストはなぜ赤いの？では目が見えづらい人が見やすい様に、国旗の真ん中が赤だから等子どもの視点の面白さを感じた。ポストは外国では色が違うよ！という鋭い発言もあった。自然物では、水って透明なのに、海は青いよ！でも、黒い海もある！色が変わるんだよ！曇っていると茶色いよ！など、色って面白いと興味が広がったようだ。

別紙参照

活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付してください。

（HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。）

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちにとって、色は日常に当たり前にあるもの。しかし、注目してみると疑問や発見が多く興味深い様子だった。消防車の赤、バトランプの赤、パトカーの白黒、標識の色、信号の色等日々目にしている物の色について、なんでこの色なのか？という事を子どもなりに考えているようだった。物と色を繋げてイメージしていることを感じる事ができた。バナナは黄色、いちごは赤、好きな電車は青等、身近な物の色から色のイメージを感じているようであった。色を認識し、色のイメージをするスタートとなっている。またその中で、バナナが好きだから黄色が好きや〇〇線の電車が好きだから青が好きなど色の好みにも発展する様子もあった。子どもたちが活動をする中で、色は様々な物や自然現象などからイメージや印象が生まれている事を感じることが出来た。また、子どもたちが興味をもつことで、探求心が高まり新しい発見や驚き、楽しさにつながった。
--